

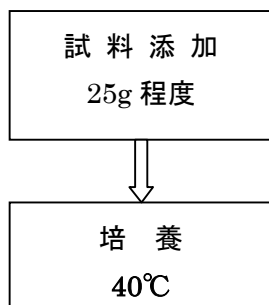
サルモネラ用 SensiMedia 使用説明書

マイクロバイオ株式会社

1. 特徴

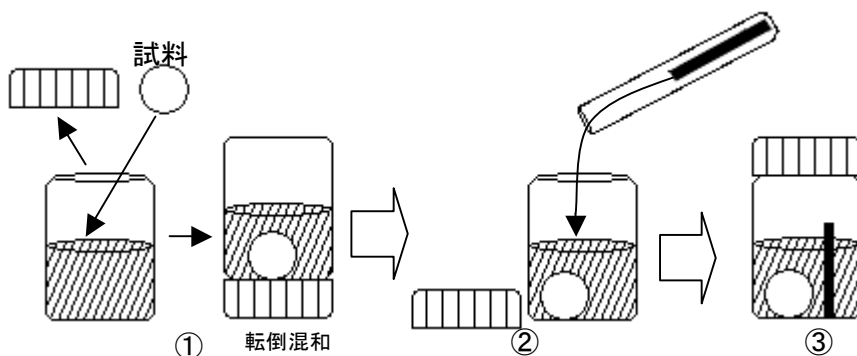
この SensiMedia は、検体中のサルモネラをシトロバクター、大腸菌、エンテロバクター、クレブシエラなどの菌から分離検出できるようにしたものです。

2. 検査の手順



試料添加

- ① SensiMedia のキャップを開け、試料を 25g 程度を添加します。
その後、転倒混和させます。
- ② センサー側のキャップを開けセンサーを直接 SensiMedia に入れます。
- ③ キャップを締めて、インキュベーターに入れます。



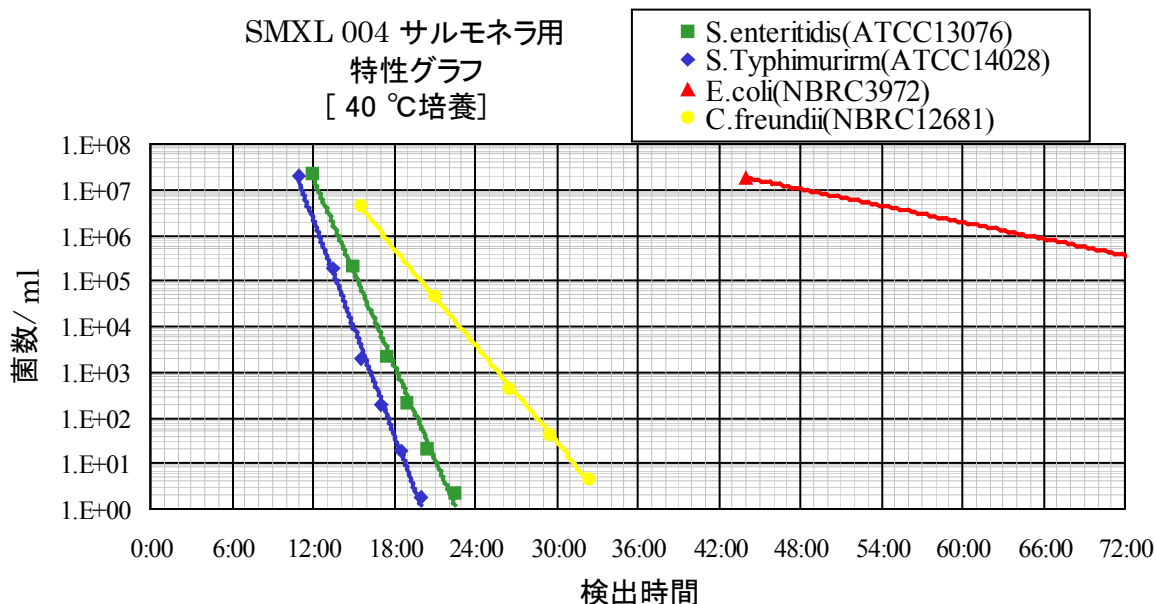
培養温度

40℃で培養してください。

3. 判定基準

標準菌株による特性は下図に示すとおりですので、試料及び危惧される微生物を用い、これを参考にプロトコルを設定してご使用ください。通常、36 時間程度経過後でもセンサーが青色のままであれば、サルモネラについて陰性と判断できます。陽性のときは、センサーが黄色透明になります。

※センサーが見えにくいのでボトルを傾けて確認してください。



参考) 検査判定について

培養液が黄色でも 36 時間程度経過後にセンサーが黄色透明に反応する場合、サルモネラが検出されたものとして、確定試験を実施してください。培養液の色は、他の菌による汚染が低い場合でサルモネラが検出された時に赤褐色になります。



サルモネラ (<i>S.typhimurium</i>) ATCC 14028	サルモネラ (<i>S.enteritidis</i>) ATCC 13076	大腸菌 (<i>E.coli</i>) NBRC 3972	シトロバクター (<i>Citrobacter</i>) NBRC 12681
---	---	---------------------------------------	---

センサー	培養液色	判定
<36hr 黄色	赤褐色	サルモネラ
<36hr 黄色	黄色	大腸菌、他